

東京医科歯科大学 ゲノム病理学分野

今回私は、滅多に行くことのできない東京にある大学や企業に行けると知り、参加したいと思いました。

1 日目の午前中は、ディレクトフォースで三人の方とお話しをさせていただき、それぞれの方から貴重なお話をうかがうことができました。一人目の守屋雅夫様からは、キューピーでは開発部で働き、その後中国でも勤務した経験をもとに、目の前に壁が立ちほだかったとき大事なはずっと考え続けること、大切なのは集中力と持続力であるということをお話いただきました。二人目の藤井麻衣様からは、自分の専門分野を極めることの強みや文系、理系どちらの考えも必要だということ、国と国の間で働かれている立場から話いただきました。三人目の相馬円香様からは、人の上に立つ人として信頼されるような人間性がいかに大事か、また明確な目標を持ち、人を引っ張っていくときの覚悟を持った上での行動などが大切であるということをお話いただきました。

この三人の方々とお話させていただき、様々なことを吸収させていただいた中で、私が思った共通点は、人から信頼されることで仕事をうまくやることができるということだと思いました。



午後は、東京医科歯科大学のゲノム病理学分野の研究所に行かせていただき、石川先生ご本人が絵や図などを使って、先生方が行っている研究はどのようなものか、ゲノム解析がどのような方法で行われているのかなどを、実物の DNA を入れて解析する機械にいれる

チップをみせていただき、DNAを実際解析するときにA,T,C,Gがわかるのは、電子によって振り分けることができるということや、今では十数年前と比べて、とても安くゲノム解析が行われるようになり、解析されたヒトゲノムのデータ量が文庫本30000冊分、新聞だと25年分といかに多いかなど、ゲノム解析の詳しいことをたくさん学習することができとてもおもしろかったです。また、がんが遺伝子の変異により、勝手に増殖することで大きくなることや、多くの人になりやすい重要な遺伝子変異がわかることで、より効きやすい薬が開発できることがメリットだということも教えていただき、より詳しいゲノム病理のがんへの関わりを知ることができました。そのあと、実際に使われている機械や道具、DNAが保存されているものや、ゲノム解析を行う機械なども見せていただきました。また、本物の二つの細胞を顕微鏡で見せていただき、初めて見たシャーレにくつつかず、液体中を浮遊する細胞が印象的でした。研究について教えていただいた後、研究所の方々と様々なお話をさせていただきました。なぜ病理で働くようになったのか、どのように研究所に入ったのか、研究をしている方々は研究だけでなく病院でも働いている方が多いということなど、医療系のことだけでなく、大学受験でどう勉強したかや、どういう高校生活だったかなど勉強や学生時代についても教えていただきました。質問させていただき、普段滅多に接点のない大学院の方や先生方に、多くのことを聞かせていただけて、とても有意義な時間を過ごせました。

今回、研究所でゲノム解析を使った治療について知ることができ、また、貴重なお話を聞かせていただけたことは、とても大きな糧になると思います。自分のこれからの進路を考えるときに必ずいきてくると思うので、今回聞けたお話を心にとめて、大学、その先の自分の就く職業を考える際に役立てたいと思います。



1日目の夜は、OB,OGとの座談会でした。OB,OGの多くは、東大の学生か卒業生の方々

で、その高い目標を達成した方々のお話は、とてもためになりました。中でも印象に残っているのは、大学に行くことを目標にはいけないということと、自分がどうしたいかを考えることが大事ということです。私は、今大学を全く決められておらず、将来どうしたいということが明確に決まっていなかったので、自分の将来を考える上で大切にしたい考えだと思いました。大学に入ることが目標になってしまうと、入った後に何をすればいいかわからなくなると言われて、私はそうならないために大学はあくまでやりたいことをするための途中過程であるべきであり、一番念頭にあるのは自分がどのようなことをしたいのかということではなくてはならないと思いました。やりたいことをするために、自分の将来の選択肢を広げるためには、やはりそれなりの学力も必要になってくると思い、勉強しなくてはと思いました。自分がどうしたいかを考えることで、自分の軸がわかるようになり、興味のある道に進めることができると言われました。一か月後〇〇したい、二か月後〇〇したい…一年後〇〇したい…二年後〇〇したい、と自分のやりたいことを具体的に未来へと考えていくことで、自分が何をしていきたいかがわかるといわれ、未来へのビジョンを描くことが大切なんだと思いました。私は、やりたいことがしっかりと定まっていないうちからこそ、たくさんの興味のある選択肢を広げることが、今わたしのできることだと思ったので、自分の興味のあることには積極的に関わっていこうと思いました。

2日目は、FairWindの方々に東大を案内していただきました。

午前中は、駒場キャンパスを案内していただきました。どこもかっこいいつくりになっていて、図書館がとても広く、たくさんの本が置いてあり、すごかったです。そのあと、学生の方がいろいろなプレゼンで、東大の良いところをたくさん教えてくださいました。なかでも気になったのは、一年半の間に、他の学部に移ることができる進学振り分け制度は、自分で本当に行きたい学部に行くためには、とても便利な制度だと思いました。他にも、たくさんのサークルがあって、おもしろそうだなと思いました。

午後は、本郷キャンパスでは、まず、潮先生にこれからの地球を使いすぎないようにどうするかという **One Earthology** について教えていただきました。個人ではできないことかもしれませんが、だからといって無関心になるのではなく、小さなことでも自分にできることをしていきたいと思いました。その後、農学部のお二人の先生の研究を見せていただきました。魚の研究をされている金子先生の研究室は、海水魚と淡水魚の住む水の塩分濃度の調節で魚が育ちやすくなることや、海水・淡水でどのように塩分を魚が取っているのかがわかって面白かったです。木を分解し、様々なことに利用しようとしている五十嵐先生の研究室では、菌を利用して、木を分解することで様々なことに利用できるようにびっくりしました。また、木を分解することでプラスチックを作ることができ、実際に作られている(私たちのいただいたバックも木からできたものだそうです)ということにも驚きました。



そのあと、学生さんにグループで相談会をさせていただきました。やはり、前日のOB,OGの座談会同様、高い目標を達成してきた方々は、ためになる話をたくさんしてくださいました。どうやったら効率よく勉強できるかや、なぜ東大を目指そうと思ったのかなど、個人個人で答えは違いましたが、どなたも受験だけでなく、その先を考えた上で、今の道に進まれているということが共通点だと思いました。大学に入る時点では、入ることが目標だった方もいらっしゃいましたが、その方々はそこで自分のやりたいことを見つけて、そのために学部を変えたり、研究室に入ったりと自分のやりたいことをするために進路を考えていました。私は自分のやりたいことをするために、大学の中でも進路を選んでいかななくてはならないということを知ることができました。とても身になる相談会でした。

今回、なかなかお会いできない方々とお話することができ、自分の進路だけでなく将来もどうしていきたいかを考える良い機会と考え方をたくさん教えていただいたり、考えたりすることができました。この東京研修で培ったものを忘れずに、自分の将来を考えていきたいと思いました。

